

KWF申請元レコードの承認依頼先ユーザー指定機能拡張 (V1R8→V1R9)の設定手順

【機能説明】

申請元レコードにて、承認依頼先ユーザーを指定できます。
申請後でも、承認依頼先ユーザーの指定が可能になります。
進行中Stepの承認依頼先ユーザーは変更できません。差し戻しにて可能です。

【注意事項】

承認依頼先ユーザー(下記、設定詳細の「依頼先指定Step」)を指定すると、KWF経路定義の該当するStepの承認者指定が無効になります。

なお、ログインユーザーが承認依頼先ユーザーを指定するフィールドへの参照権限がない場合は、下記の通りになります。

- ・申請時は、KWF経路定義の該当するStepの承認者指定が有効になります。
- ・申請後は、KWFワークフローレコードの承認依頼先のままになります。

【設定概要】

アプリ名	設定概要
KWFフォーム定義	(1)サブテーブルに「依頼先指定Step」フィールドを追加
	(2)ラベルに説明を追加

【設定詳細】

KWFフォーム定義アプリ

(1) ”5. 申請元アプリのフィールドを定義します。” のサブテーブルに
「依頼先指定Step」(数値)フィールドを追加します。

申請元フィールド名	申請元フィールドコード	type	指定	申請前	進行中	入力Sta
			-----	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

※ 「kwfデータ」および「申請状態」を必ず指定してください。「kwfデータ」の指定は、保存後の変更はできません。
※ 「+」「-」ボタンを一度でも操作すると保存できません。キャンセルしてください。

ここに追加します。

数値フィールドを追加します。

フィールド名 : 依頼先指定Step

値の制限 最小 : 1

フィールドコード: 依頼先指定Step
を指定してください。

数値の設定

? ヘルプ

フィールド名 *

依頼先指定Step

桁区切りを表示する

必須項目にする

値の重複を禁止する

値の制限 (整数で指定)

最小 1 最大

初期値

小数点以下の表示桁数

単位記号

前に付ける (例: ¥100) 後ろに付ける (例: 100km)

フィールドコード *

依頼先指定Step

保存 キャンセル

キャンセル 保存

KWFフォーム定義アプリ

(2) ”5. 申請元アプリのフィールドを定義します。” のラベルに説明を追加します。

5. 申請元アプリのフィールドを定義します。
※申請前、進行中、承認後、却下後の編集不可「×」を指定できます。
※サブテーブル内のフィールドは指定できません。編集画面では、サブテーブル全体が非表示になります。
※進行中の特定の経路Stepで必須入力フィールドを指定することができます。「入力Step」に経路StepNo.を数値で指定してください。
※「kwfデータ」および「申請状態」を必ず指定してください。「kwfデータ」の指定は、保存後の変更はできません。
※「+」「-」ボタンを一度でも操作すると保存できません。キャンセルしてください。

申請元フィールド名	申請元フィールドコード	type	値	依頼先指定Step	申請前	進行中	入力Step	承認後	却下後
			---		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

6. 承認操作前に申請元レコードの表示を必須にします。
必須にすると、申請元レコード表示を行った直後に承認操作が可能になります。
また、一覧表示の条件になります。

下記の文面を追加します。

※申請元レコードで承認依頼先ユーザーを指定できます。「依頼先指定Step」に経路StepNo.を数値で指定してください。

ラベルの設定

? ヘルプ

B / I T 普通

※申請前、進行中、承認後、却下後の編集不可「×」を指定できます。
※サブテーブル内のフィールドは指定できません。編集画面では、サブテーブル全体が非表示になります。
※進行中の特定の経路Stepで必須入力フィールドを指定することができます。「入力Step」に経路StepNo.を数値で指定してください。
※申請元レコードで承認依頼先ユーザーを指定できます。「依頼先指定Step」に経路StepNo.を数値で指定してください。
※「kwfデータ」および「申請状態」を必ず指定してください。「kwfデータ」の指定は、保存後の変更はできません。

キャンセル 保存

設定は以上です。